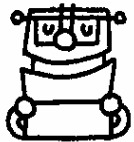


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /  
大地のしくみ / 理解シート

## 化石しかない恐竜きょうりゅうがほろびた時期が、なぜわかるの



それまで見つかった恐竜の化石が、まったく見つからなくなつた地層ちそうの年代を調べれば、ほろびた時期がわかるのさ。

### 化石の見つかった地層から、生きていた時代がわかる

ふつう、地層は、上に積み重なってできていくため、下にある地層ほど、年代が古いといえます。また、化石の中には、ある特定の地層（特定の年代）にしか見つからない種類のものもあります。こんな化石は、しじゅんかせき指準化石とよばれていて、その化石が混じっていれば、すぐ地層の年代がわかるわけです。

だから、ぎゃくに、どの地層で化石が見つかったかということから、その化石になった生き物が生きていた時代もわかるわけです。

### ほろびてしまった動物は、化石が残らない

木の葉や動物の死がいは無数にありますが、そのほとんどは、くさってとけてしまつてなくなり、化石となって残ることは、とても少ないものです。だから、恐竜の歯ほねや、骨が一個でも見つければ、そこにはたくさんの恐竜がいたと考えられます。

恐竜が約2億5000万年前ごろ現れたと考えられているのは、各地のさんじょうき三畳紀とよばれる時代の地層の中に、古いタイプの恐竜の化石が見つかっているからです。それに続く後の時代の地層から、各地でいろいろな恐竜の化石がたくさん見つかっていることから、恐竜がふえ広がっていたことがわかります。

そして、約6500万年ごろを境目にして、それより後の地層では、恐竜の化石はまったく見つからなくなったのです。そのため、このころ恐竜は絶めつたということがわかるのです。

あちこちで化石が見つかっているから、日本にも恐竜はいたのね。

